

IGF 2022
MAG Meeting III | 5 April 2022
Summary report

Action items & Next steps

セッション提案の募集

- ・ ワークショッププロセスに関する**MAG WG**は、提案募集の最終決定（コメントを含む）を**4月8日(金)**までに行う。
- ・ **4月11日（月）**までに**MAG**メンバーが募集要項を確認。
- ・ **4月11日**に開催される**MAG**会議にて、募集を承認する。
- ・ **4月11日**の週からセッション提案の募集を開始する。

EGM

- ・ **MAG**メンバーは、**EGM**報告書が入手でき次第、注意深く確認するようにとのこと。

IGF2022準備サイクルにおけるインターネットガバナンスフォーラム（IGF）マルチステークホルダーアドバイザリーグループ（MAG）の第3回リモート会議が2022年4月5日に開催され、MAG議長のPaul Mitchell氏により司会が行われた。

本要約報告書には、会議の議題（附属書Ⅰ）と参加者リスト（附属書Ⅱ）が添付されている。

I. MAG議長および事務局からの紹介と最新情報

1. EGMの開催

2022年3月30日から4月1日にかけてニューヨークで専門家グループ会議（EGM）が開催され、インターネット政策問題に関するグローバルなマルチステークホルダー議論の場としてのIGFの強化と改善に関する進行中のプロセスの広い文脈の中で、デジタル協力を推進しこの分野で提案されたイニシアティブを実施するためにIGFがいかに貢献できるかを検討したことが報告された。この会合の報告書（主要な意見と行動指針の概要）は現在準備中であり、コミュニティのフィードバックのために公表される予定である。

2. 提起された主なポイント

- ・ EGMに参加したMAGメンバーからは、3日間にわたる濃密で有益かつ率直な会議であったとの声が聞かれた。
- ・ EGMで議論された問題のいくつかは以下の通り：**MAG**の規約を変更すべきかどうかを判断するために、規約を見直すべきであるという提案、IGFセッションのオーガナイザーがセッションを計画する全過程において、可能な限り能力開発を行う必要があること、**Dynamic coalitions (DC)**及び国

家、地域、若者のIGFイニシアチブ（NRI）を、IGF主要テーマに焦点を当てたメインセッションに統合する（これらのプロセスがそれぞれ別のメインセッションを持つのではなく）ことにより、これらのプロセスをより可視化し、より広いIGFプログラムの中に統合を強化する方法としての提案。

- ・ EGMの議論から多くの提案がされたが、その中にはもっと考える必要があるもの、もっとリソースが必要なもの、そして実用的で短中期で実施可能なものがあることが指摘された。

3. Action items

MAG メンバーは、EGM 報告書が入手可能な場合は、慎重に検討することが推奨された。

4. その他

事務局からのその他のアップデートとして、IGFニュースレターの最新版が発行されたこと、第2回オープンコンサルテーションとMAG会合（2022年7月開催予定）への財政支援に関心を示すMAGメンバーの募集は終了しているという見解が示された。

II. IGF 2022のセッション提案の募集

1. ワークショッププロセスに関するMAGワーキンググループ

ワークショッププロセスに関するMAGワーキンググループは、IGF2022のワークショップ提案募集とワークショップ提案フォームの作成に取り組んできた。提案募集とフォームの改訂作業において、グループはいくつかの重要な問題を検討したことが説明された：より焦点を絞ったセッションの必要性、ハイブリッドセッションの構築とオンラインとオンサイトの参加者の有意義な参加を確保するための革新的なアプローチの使用、MAGが何を評価するかについてより明確にするためにこれまで使用した様々な基準を調整すること。

2. 主な指摘事項

- ・セッション提案の募集では、提案者が選択したテーマ（IGF2022の5つのテーマのうち）にどのように関連しているかを明確に示すことが求められている。提案者は、そのセッションが特定のテーマに関する議論にどのように新しいものを提供するかを説明することを要求するポイントも組み込むことが提案された。
- ・MAG は、新たなステークホルダーが IGF でセッションを主催することを奨励する方法を模索するよう求められた。例えば、評価プロセスにおいて、MAGは提案の質と多様性や新しい視点の必要性とのバランスを取る方法を検討することができるとされた。同時に、MAGは提案の評価において客観的である必要があり、評価プロセスにおいて一貫して同じ基準を適用する必要がある。
- ・セッション提案書には、IGFで利用可能な技術を考慮し、どのようにセッションを包括的かつ参加型にするかという提案のチェックボックスを設けることが提案された。これにより、提案者は技術的な観点から何が可能かについて明確な考えを持つことができ、そのような可能性を超えた提案を避けることができる。

- ・ もう一つの提案は、提案募集のカバーページ（IGFウェブサイトで公開される予定）を作成し、セッション提案者が提案を作成する際のガイドとすることであった。
- ・ IGF2021の経験に基づき、MAGはセッション提案者/主催者向けに、セッションの運営方法と講演者の直前キャンセルなど予期せぬ事態への対処方法に関する追加ガイダンスを作成することができる。
- ・ すべてのセッションは、デフォルトですべての参加者にハイブリッドな体験を提供すべきであり、セッション主催者がセッション形式を提案する際に考慮すべきことであると言及されました。
- ・ 真にハイブリッドで包括的なセッションを開催するために、セッション主催者の能力を高めることにもっと集中的に取り組むことが要求された。
- ・ コミュニティがセッション提案を提出できる言語について議論された。事務局とMAGは、英語以外の言語によるセッション提案の提出とレビューを可能にするためのリソースを有していないことが指摘された。しかし、この問題は、MAGが年間を通じて検討し、このギャップを解決する方法について、時間をかけて勧告することを検討することができます。

3. Action items

- ・ ワークショッププロセスに関するMAG WGは、4月8日（金）までに提案募集をまとめる（会議からのコメントも反映）。
- ・ 4月11日（月）までにMAGメンバーが募集内容を確認する。
- ・ 4月11日に開催されるMAG会議で、募集内容を承認する。
- ・ 4月11日の週からセッション提案の募集を開始する。

Annex I Meeting agenda

Agenda

1. Welcome from the Chair
2. Updates from the Secretariat (Incl update from EGM)
3. Call for session proposals (approval of call and form)
4. AOB
5. Next Steps

Annex II Participants

Last name	First name
MAG Chair	
Mitchell	Paul
MAG members	
Amuge	Peace Oliver
Andriamampionona	Hariniombonana
Attoumani	Karim
Birarda	Carina
Buckridge	Chris
Choudhury	Amrita
Espinosa	Amado
Fair	Justin
Fantinati	Mattia
Fudzulani	Bram
Hordyński	Ryszard
Horejsova	Tereza
Kawauchi	Junko
Lagakali	Cherie
Martins dos Santos	Bruna
Miliza	Josephine
Oteguy	Paula
Peake	Adam
Ramirez Garcia	Alan
Radsch	Courtney
Roach	Carol
Simona	Tenanoia
Sultanov	Talant
Tauchnitz	Evelyne
Tiigimäe	Meelis
Zambrana	Roberto

Office of the UN Secretary-General's Envoy on Technology	
Munyan	Jason
Past and prospective IGF host countries	
Glushchenko	Vadim
Other participants	
Amessinou	Kossi
Carvell	Mark
Cassa	Concettina
Croll	Jutta
Edoh	Afi
Kummer	Markus
Parris	June
Uduma	Mary
Wagner	Flavio
IGF Secretariat	
Bobo	Luis
Gengo	Anja
Masango	Chengetai
Mazzucchi	Eleonora
Souter	David
Teleanu	Sorina